



2017年3月9日

「ドライバーの日常健康支援サービス」の提供開始

企業ドライバーの日々の健康状態を把握し健康起因事故防止を支援

SOMPOリスクアマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）は、3月10日から、企業向けに、バイタルデータを活用した「ドライバーの日常健康支援サービス」（以下「本サービス」）の提供を開始します。

1. 背景

昨今の交通事故において、ドライバーの健康状態に起因する事故（以下「健康起因事故」）の増加が指摘されるなか、ドライバーの健康を維持することは、自動車を業務で使用する事業者にとって不可欠な取り組みとなっています。

国土交通省は、こうした事故を防止するため、運輸事業者に対してドライバーの健康状態の把握と乗務判断の具体的運用を定めていますが、あわせてドライバー自身による健康管理を推奨しています^(*1)。

これを受け、SOMPOリスクアは、本サービスの提供を開始することとしました。

*1 国土交通省自動車局 自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」（平成22年7月1日 平成26年4月18日（改訂））

2. 本サービスの概要

本サービスでは、以下3つのメニューをご提供します。

項目	内容
① ドライバーの日常バイタルデータの取得と点呼時活用	ドライバーの毎日のバイタルデータ（運動量、睡眠時間、血圧、体温、体重）を機器で計測 ^(*2) し、クラウドサーバーに蓄積します ^(*3) 。ドライバーの日々の健康状態を把握することができるとともに、健康管理の徹底を図ることが可能となります ^(*4) 。
② 日常バイタルデータに基づくアドバイス	①で取得・蓄積したドライバーのバイタルデータ（疲労や睡眠の状態）を参考に独自の知見に基づき、ドライバーの健康増進・生活習慣の改善や運行管理に役立つアドバイスをします。
③（オプション）運転中データの活用	上記①、②に加え、心拍を計測できる機器によりドライバーの運転中のデータや、ドライブレコーダー等の走行データ等を取得・分析してアドバイスします。

*2 バイタルデータの計測に必要な機器は、お客さまにてご用意いただきます（使用機器の概要は<別紙>参照）。

*3 データは、東芝情報システム株式会社（取締役社長：伊藤 壮介）のクラウドサーバーを利用して蓄積します。蓄積されたデータは、同サーバーを通じて、SOMPOリスクアが提供を受けます。

*4 管理者は、毎日の点呼時にドライバーの健康状態の推移を確認することができ、通常時と異なる数値の場合にわかりやすく知らせるアラート機能を用意しています（アラート機能の概要は<別紙>参照）。

(1) 特長

- ①ドライバーの健康状態を常時把握することで、点呼時等に、ドライバーの体調に通常と異なる兆候が確認された場合は休憩を多めに取得させたり、状況次第では運転を交代させたりするなど、健康起因事故の防止にお役立ていただけます。
- ②これまでに蓄積してきた特定保健指導や健康相談の経験を活かし、ドライバーの健康を維持・改善するための生活習慣や運行管理上の留意点などについてアドバイスします。

(2) 対象

ドライバーの健康起因事故防止に関心のある企業
(運輸事業者、非運輸事業者を問いません。)

3. 今後の展開

SOMPOリスクケアは、安心・安全・健康に資するサービスプロバイダーとして、引き続き、健康起因に関わる事故防止サービスを開発・提供し、企業の事故防止活動を支援してまいります。

SOMPOリスクケアマネジメントについて

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社は、SOMPOホールディングスグループのグループ会社です。「健康指導・相談事業」「メンタルヘルスケア事業」「リスクマネジメント事業」を展開し、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策、健康経営、全社的リスクマネジメント(ERM)、事業継続(BCM・BCP)などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部
自動車コンサルティング事業部 [担当：杉山、白井]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5437 (直通)

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクケアマネジメント株式会社
経営企画部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5468 (直通)

以上

<別紙>

1. バイタルデータを計測する際に使用する機器

以下は、バイタルデータ計測にあたり使用する機器の構成例です。

項目	内容
①活動量計	ドライバー個人に配布し、毎日の活動量（歩数）や睡眠時間を記録、日々の生活改善の状況を把握します。
②血圧計・体温計・体重計	ドライバーの運行前点呼時にデータを取得することで、体調変化の可視化に役立ってます。

（①、②の機器で計測したバイタルデータは、専用タブレット端末に集約して表示するとともに、タブレット端末からクラウドサーバーに送信されます。）

2. アラート機能の概要

計測値は随時タブレット端末から確認することが可能であり、計測値に通常値と異なる兆候がある場合は「表情イラスト」でアラートを表示します。これにより、ドライバー点呼時に円滑に体調を把握することができます。

